

令和8年度 第2回公立大学法人岐阜県立看護大学教育研究審議会 議事録

- 1 日 時 令和8年6月18日（木） 10:27～11:26
- 2 場 所 公立大学法人岐阜県立看護大学 会議室1
- 3 出席者 松下委員、梅津委員、古川委員、青木委員、大川委員、橋本委員、山田委員
北村委員、北山委員
欠席者 なし
事務局 布施総務課長、清水学務課長、井戸田主任、大野主事

4 議事概要

審議事項

（1）令和7年度事業報告書（案）について

事務局より、資料1に基づき令和7年度の教育研究に関する業務の実績について説明がなされ、審議を行った結果、案のとおり承認された。

審議における発言は以下のとおりであった。

○専門看護師の3コース（慢性看護、小児看護、がん看護）全てを38単位の教育課程で実施するようになったのは平成30年度からであり、実施開始から相当期間が経過しているため、今後、業務の実績としては記載しなくても良いのではないかと意見が出された。

（2）第3期中期目標期間（見込）業務実績報告書（案）について

事務局より、資料2に基づき第3期中期目標期間の見込の教育研究に関する業務の実績について説明がなされ、審議を行った結果、必要な加筆修正を行うことで承認された。

審議における発言は以下のとおりであった。

○専門看護師の修了者数について、専門看護師資格の取得者数だけでなく、修了者のうち何名が資格を取得したのかを記載すると良いのではないかと意見が出された。

○三者評価の実施状況の記載について、「合致した学びを得ていることを確認した。」との記載にする方が良いのではないかと意見が出された。

○県内医療施設による全体説明会参加状況の表について、令和7年度の参加医療機関数が前年度までと比較して減少しているように見えるが、参加希望の医療機関が減った訳では無く、説明会の実施方法を変更したことが原因であることを記載すると良いのではないかと意見が出された。

○就職率の記載について、県内就職は卒業者全体の58.5%を占めたとあるが、就職状況の表は就職した者（進学した者を含まない）のみを母数とした表となっている。表については、就職者を母数とした表であることが分かるよう記載すると良いのではないかと意見が出された。

○各種委員会委員状況（岐阜県）の表について確認がなされ、記載されている委員担当年度の確認・修正を行うこととなった。

○卒業者及び修了者との連携・協働体制について、令和6年度末に看護実践改革のモデル施設づくり事業のプレ活動として実施した羽島市民病院に就業する卒業者との意

見交換会の実績を記載すると良いのではないかと意見が出された。

○看護実践研究学会の記載について、学会に対して支援を行ったことが分かるよう記載すると良いのではないかと意見が出された。

(3) 教員の人事について

事務局より、資料3に基づき教員の人事について説明がなされ、審議を行った結果、案のとおり承認された。

(4) 教育研究審議会における理事長候補者の推薦方法（案）について

事務局より、資料4に基づき教育研究審議会における理事長候補者の推薦方法（案）について説明がなされ、審議を行った結果、案のとおり承認された。

5 閉会